

# 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

<b>事業名</b> 一般国道9号 仁摩・温泉津道路		<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 中国地方整備局
<b>起終点</b> 自：島根県大田市仁摩町 大国 至：島根県大田市温泉津町 今浦		<b>延長</b> 11.8km	
<b>事業概要</b> 一般国道9号は、京都市から下関市に至る延長約730kmの主要幹線道路である。 仁摩・温泉津道路は、大田市仁摩町から温泉津町内における緊急時の代替路線の確保、現道の隘路区間の解消、観光・医療・物流活動の支援するとともに、山陰地方における高規格道路網の一部を形成する路線で、広域交流の促進及び地域活性化に寄与する延長11.8kmの自動車専用道路である。			
H15年度都市計画決定		H11年度着工準備	H16年度事業・用地着手
H17年度工事着手			
<b>全体事業費</b> 約660億円		<b>事業進捗率</b> 26.1%	<b>供用済延長</b> 0.0km
<b>計画交通量</b> 15500~15800台/日			
<b>費用対効果分析結果</b> B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 2.3	<b>総費用</b> (残事業)/ (事業全体) 384/577億円 (事業費) 361/554億円 (維持管理費) 23/23億円	<b>総便益</b> (残事業)/ (事業全体) 872 / 872 億円 (走行時間短縮便益) 679/ 679億円 (走行経費減少便益) 140/140億円 (交通事故減少便益) 52/52億円	<b>基準年</b> 平成20年
<b>感度分析の結果</b> 残事業についての感度分析を実施 交通量変動 : B/C=2.6 (交通量+10%)      B/C=2.0 (交通量-10%) 事業費変動 : B/C=2.1 (事業費+10%)      B/C=2.5 (事業費-10%)			
<b>事業の効果等</b> ・災害への備え（緊急輸送路である現道が通行止めになった場合に、大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。） ・国土・地域ネットワークの構築（出雲地方と石見地方を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する） ・安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる。） 他17項目に該当			
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 仁摩・温泉津道路は、出雲地域と石見地域の連絡強化、沿線の交通隘路箇所の回避などが期待されており、大田市をはじめとする沿線自治体の首長で構成される山陰道（出雲～江津）出雲江津間高規格道路建設促進期成同盟会より早期整備の要望を受けている。			
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> H19.7に石見銀山が世界遺産に登録され、訪れる観光客等が急増していることにより、国道9号を利用する交通量も増加している。特に大型連休時には、国道で著しい渋滞が発生。			
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> H19年度末までに用地買収進捗率は92%。			
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> H20年代の全線暫定供用を目指し、事業を推進する。			
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 橋梁の耐候性鋼材（無塗装化）の使用による塗装・塗替作業の管理費縮減、及びGRF工法の採用により、基礎体寸法の縮小によるコスト縮減を図っている。			
<b>対応方針</b> 事業継続			
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
<b>事業概要図</b> 			

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。